

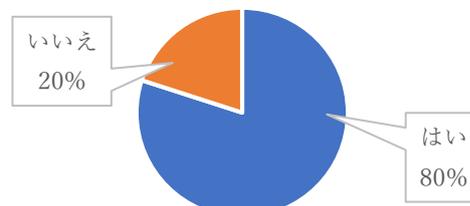
薬学生のための小児薬物療法体験コース（アンケート集計結果）

日程 2024/11/13（水）～14（木）の2日間

参加者 薬学部5年生（10名）

1. インターンシップや病院見学は他施設も参加したか

はい（8）、いいえ（2）



2. 前項1で「はい」と回答した場合の施設名（重複回答あり）

埼玉県立循環器呼吸器病センター（2）、	埼玉県立がんセンター（4）
埼玉県立小児医療センター（1）	埼玉県立精神医療センター（1）
深谷赤十字病院（2）	前橋赤十字病院（2）
群馬大学附属病院（1）	伊勢崎市民病院（1）
東京都立大塚病院（1）	自治医大さいたま医療センター（1）
中部徳洲会病院（1）	南部徳洲会（1）
国立がん研究センター病院（1）	

3. 今日の満足度（5がよい、1が悪い）

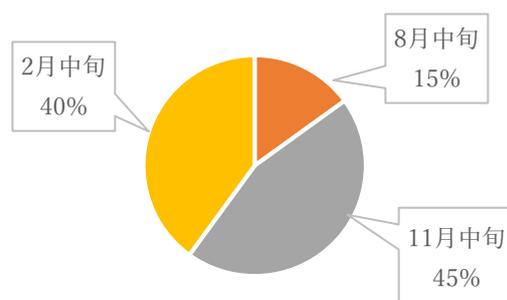
5（10）、4以下の回答なし

4. 平日開催と休日開催のどちらを希望するか

平日（10）、休日（0）

5. インターンシップの期間はいつが適切か（複数回答可）

5月中旬（0）
8月中旬（3）
11月中旬（9）
2月中旬（8）



6. インターンシップの期間が2日間であることについて（5がよい、1が悪い）

5：よい（6）
4：ややよい（2）
3：普通（1）
2：やや悪い（1）、 0：悪いは回答なし

7. 参加して最もよかった項目（1つを選択）

小児調剤（1）、病棟（9）

8. インターンシップの感想(自由意見)

- 処方検討を通して小児調剤の手順の多さや大変さについてよく理解できた。病棟見学では病棟ごとの違いや薬剤師の業務を具体的に知ることができてよかった。インターンシップに参加している他の学生との関わりもでき、勉強になった。ありがとうございました。
- 小児医療センターにはどのような患者がいて、どのように治療が行われているか詳しく学ぶことができ、大変貴重な経験を得ることができた。
- 小児病院ならではの採用薬の特徴や、注射薬の調製の際に全量使わないこと、薬を粉碎した際の特徴を知る必要があることなど、成人病院との違いを知ることができた。また病棟訪問ができ、小児病院ならではの明るい雰囲気を感じることでよかった。今後の病院実習では成人病院との違いを感じたいと思う。貴重な経験であった。
- 小児医療センターということで小児医療に特化した医療施設を見学できてよかった。病棟では実際に患者さんを目の前にし、小ささを感じるとともに大きくなれるよう自分にもできることがあれば全力で仕事をさせていただきたいと思った。また学童期の子とのかかわり方や死への向き合い方を考える良いきっかけとなった。
- 貴院での働き方や施設の中を実際に見ることができてとても充実したインターンシップになった。どんな薬が使われているか、どんな患者がいるかを見ることができ、小児病棟のことを深く知ることができた。小児病院でしか学べない子どもの心情についても考えることができ、とても良い機会になった。
- 病棟見学の際、笑顔の子供たちや保護者の方々を見て、小児医療のやりがいの1つを見つけられたと思った。また参加理由でもある「小児医療」に対する理解を深めることができたと思う。
- 実習ではほとんど知ることができなかった小児領域について学ぶ機会を得られとても良かった。病院の中に初めて入った時から、今まで入ったことのある病院とは全く異なっていて、病棟訪問の際も設備や空気感がまったく違っていたのがとても新鮮であった。
- 調剤から病棟まで多くの業務を見学体験させていただき、小児ならではの工夫や特徴を知ることができ、とても貴重な機会となった。水に溶かしても水に溶けにくい薬剤を嫌がる患児に、服用方法を工夫することで服用できるようになり元気に退院できた事例などは、大きなやりがいにつながると感じた。
- 院内の雰囲気や薬剤部の雰囲気を知ることができて、非常に良い経験になった。この病院の薬剤部で働きたいという気持ちがより強くなった。
- 2日間ありがとうございました。小児科の専門病院を見学できる機会は少ないためとても勉強になった。また小児領域への興味がより深まった。